

(規則) 様式第7 (第7条関係)

# 政 務 活 動 費 成 果 報 告 書

平成25年10月31日

犬山市議会  
議長

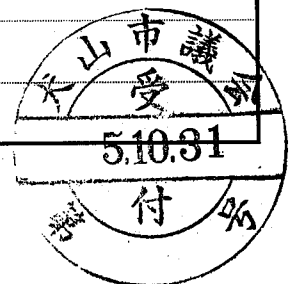
様

議員名

柴山一生

下記のとおり、研修参加の成果を報告いたします。

(1) 年月日	平成25年10月25日( ) ~ 平成25年10月26日( ) (泊2日)
(2) 場所	小倉
(3) 形態	会派 (清月会) : その他 ( )
(4) 内容	別紙参照
(5) 成果・提言	別紙参照



令和5年10月30日

犬山市議会議員

柴田浩行様

犬山市議会 清風会

柴山一生

第18回全国市議会議員会研究フォーラム視察報告

日時 令和5年10月25日～26日

視察先 西日本蔵合展示場 新館（小倉）

内容 「第18回全国市議会議員会研究フォーラム」

10月25日



13:20

片山善博大正大学教授による基調講演「躍動的でワクワクする市議会に」

議会改革基本条例制定だけで議会は変わったか？というアンチテーゼで始まって、改め

て犬山市議会を振り返った。平成 22 年に策定し、23 年に施行した犬山市議会基本条例は、そこそこ今も機能しているように感じている。

先生としては、まあ条例作っただけであまり機能していないのが一般的な地方議会だろうということで、次の指摘があった。

### 日本の地方議会の欠けてる 3 要素

#### 1 公開の場で議案に対して議論がない

鳥取県では予算案の修正など結構あった

#### 2 税の議論が必要 財政破綻になってから始まる

財源が足らなければ例えば固定資産税を上げたらいい

#### 3 住民の声が聞こえない

例えばアメリカの地方議会で図書館の存続に関し住民を巻き込んだ意見交換があった。当局としては廃止しようとしていたが、移民で来た住民の、図書館のお陰で言葉はもちろん、アメリカの歴史文化やアメリカ市民の持つ基本的な知識を学ぶことができたのは図書館があってこそという強い意見があり、結局図書館は存続したという例を紹介された。そこから、住民の意見を聞きながら丁寧に議論することが重要であることがわかる

議案をもっと丁寧に議論する。執行部の説明の裏をとる。

慶應大学のゼミである市の文教委員会を傍聴

中学校統合問題をやっていた

職員の説明は嘘に近いものもあり得る

公聴会開催も推し進めるべきだ。ただ公聴会を開くとなつて、それにまつわる二次的なもので開催がしづらいということであれば、他の形でやればいい

アンケートを議会がやってもいい

教育委員会にもっと目配りして欲しい

片山教授は県議会に感謝しているようで、議会から議案に対して議論を受けることを大歓迎した。そのお陰例えば、男女共同参画条例で鳥取県はダントツ No. 1、女性管理職が増えた、男性育児休業取得率トップ。具体例を挙げれば、12 月議会中に商工労働部長の妻が出産し、部長は育児休業取るべきかどうか悩んだが、議長の命で育児休業を取らせた。その条件として 2 月県議会での自分の体験をもとに男性職員の育児休業について報告させ、それがとても議会にも当局にも前向きにとらえられ、男性育児休業取得率トップという結果をもたらした。

14:40

パネルディスカッション

コーディネーター 谷日本経済新聞編集委員

「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」

女性議員が増えたとはいえ結局まだ 20 パーセント弱の状況なので、まだまだ、女性議員

の進出が望まれる。しかしながら、これには様々な困難があり、「住所公開」というのが女性議員候補に出馬を躊躇させる大きな要因になっている。なぜなら、最近のストーカー等の社会現象の為女性議員がつきまといられる被害も少なくはない。こういった諸問題を一つ一つクリアしていくことで女性議員進出を図ることができるだろう。

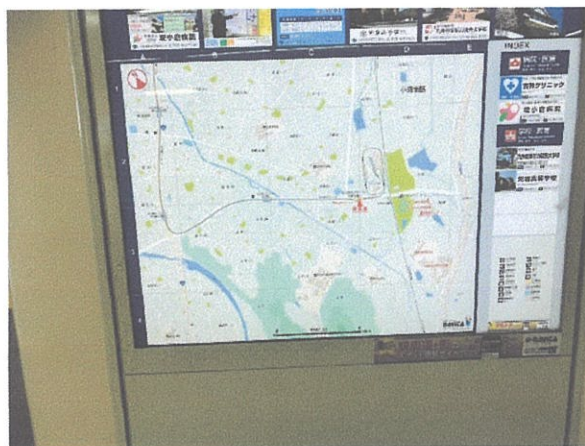
10月26日

9:00

コーディネーター 江藤大正大学教授

「議員のなり手不足問題への取組報告」

定員割れの統一地方選挙地もあったようだ。地方自治法が変更になって、300万円以内の契約であれば議員の在住の市町村とも議員が役員となる会社などと業務契約が結べるようになったそうだが、300万前後の報酬と経費等を引く前の300万の契約では到底家庭を維持することはできないので、町村などではこの法改正で議員を増やすことは不可能。それから、議員年金が廃止されしばらくたつが、やはり、厚生年金レベルの年金がないことには、議員はまともな職業としては見向きもされなくなっている、というようなことであったと思う。



12:30

モノレール試乗

北九州にモノレールがあったのを知らなかったのに乗ってみた。JR小倉駅ビルから南方に向かって終点まで約13分程。最初の数駅は小倉繁華街、そして有名な小倉競馬場の横を通り、あとは中程度の高さのマンションが立ち並ぶ住宅街を高架で走っていく。平日の正午前後であったが、車両は3、4両で、乗客は40人前後いたような気がする。一人の乗客と話したが、大変便利であるという事だった。バスよりもはるかに大量に早く送ることができるし、何よりも見晴らしがいいというのがいいのではないかと。料金は片道320円位だったと思う。

## 犬山市への提言

- ① 片山教授の言っていた、財源が足らなければ、地方税を考えればとおっしゃっていたことが印象に残っている。新税や増税は簡単にすべきではないが、私は、地方でも税について議論する週間はけるべきと思っている。現在の様に、足らなければ交付税等で賄うなど、国のお目こぼしを期待して自治体運営をするのではなく、例えば所得税地方税として、地方の財政基盤をより強固の物にしていくというような議論もしていくべきだろうと思った。